



2024年12月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年8月8日

上場会社名 株式会社東京ソワール 上場取引所 東
コード番号 8040 URL <https://www.soir.co.jp>
代表者（役職名）代表取締役社長 （氏名）小泉 純一
問合せ先責任者（役職名）取締役上席執行役員経営企画本部長 （氏名）大島 和俊（TEL）03-6372-6712
半期報告書提出予定日 2024年8月9日 配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無 : 有
決算説明会開催の有無 : 有（記者向け）

（百万円未満切捨て）

1. 2024年12月期第2四半期（中間期）の連結業績（2024年1月1日～2024年6月30日）

（1）連結経営成績（累計）

（%表示は、対前年中間期増減率）

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する中間純利益 | |
|--------------|-------|---|------|---|------|---|-----------------|---|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 2024年12月期中間期 | 8,039 | — | 380 | — | 434 | — | 393 | — |
| 2023年12月期中間期 | — | — | — | — | — | — | — | — |

（注）包括利益 2024年12月期中間期 576百万円（—%） 2023年12月期中間期 ー百万円（—%）

| | 1株当たり 中間純利益 | 潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益 |
|--------------|----------------|---------------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 2024年12月期中間期 | 114.50 | — |
| 2023年12月期中間期 | — | — |

（注）当社は、2024年12月期中間期より中間連結財務諸表を作成しているため、2023年12月期中間期の数値及び対前年中間期増減率並びに2024年12月期中間期の対前年中間期増減率については記載しておりません。

（2）連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 |
|--------------|--------|-------|--------|
| | 百万円 | 百万円 | % |
| 2024年12月期中間期 | 14,848 | 9,950 | 67.0 |
| 2023年12月期 | — | — | — |

（参考）自己資本 2024年12月期中間期 9,950百万円 2023年12月期 ー百万円

（注）当社は、2024年12月期中間期より中間連結財務諸表を作成しているため、2023年12月期の数値については記載しておりません。

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|---------------|--------|--------|--------|-------|-------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 2023年12月期 | — | 0.00 | — | 30.00 | 30.00 |
| 2024年12月期 | — | 0.00 | — | — | — |
| 2024年12月期（予想） | — | — | — | 30.00 | 30.00 |

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年12月期の連結業績予想（2024年1月1日～2024年12月31日）

（%表示は、対前期増減率）

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する当期純利益 | | 1株当たり 当期純利益 |
|----|--------|---|------|---|------|---|-----------------|---|----------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 通期 | 16,000 | — | 300 | — | 400 | — | 350 | — | 101.87 |

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

当社は、2024年12月中間期より中間連結財務諸表を作成しているため、通期の対前期増減率は記載しておりません。

※ 注記事項

- (1) 当中間期における連結範囲の重要な変更 : 有
新規 1社(社名) 株式会社キャナルジーン、除外 1社(社名) ー
(注) 詳細は、添付資料P.9(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)をご覧ください。
- (2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

| | | | | |
|---------------------|--------------|------------|--------------|------------|
| ① 期末発行済株式数(自己株式を含む) | 2024年12月期中間期 | 3,860,000株 | 2023年12月期 | 3,860,000株 |
| ② 期末自己株式数 | 2024年12月期中間期 | 411,588株 | 2023年12月期 | 429,558株 |
| ③ 期中平均株式数(中間期) | 2024年12月期中間期 | 3,435,852株 | 2023年12月期中間期 | 3,414,541株 |

(注) 株式会社日本カストディ銀行(信託E口)が保有する自社の株式は、1株当たり中間純利益の算定上、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めております

※ 第2四半期(中間期)決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

| | |
|----------------------------|------|
| 1. 当四半期決算に関する定性的情報 | P. 2 |
| (1) 経営成績に関する説明 | P. 2 |
| (2) 財政状態に関する説明 | P. 2 |
| (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 | P. 3 |
| 2. 中間連結財務諸表及び主な注記 | P. 4 |
| (1) 中間連結貸借対照表 | P. 4 |
| (2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書 | P. 6 |
| (3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書 | P. 8 |
| (4) 中間連結財務諸表に関する注記事項 | P. 9 |
| (継続企業の前提に関する注記) | P. 9 |
| (株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) | P. 9 |
| (連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更) | P. 9 |
| (セグメント情報等の注記) | P. 9 |

1. 当四半期決算に関する定性的情報

当社は当中間連結会計期間より中間連結財務諸表を作成しているため、前年同中間連結会計期間及び前連結会計年度末との比較分析は行っておりません。

(1) 経営成績に関する説明

当中間連結会計期間(2024年1月1日～2024年6月30日)における日本経済は、経済活動が活性化し、雇用・所得の改善が進む中、景気は緩やかな回復基調にあります。海外経済の減速への懸念や資源価格の高止まりなどもあり、先行き不透明な状況が続いております。

当アパレル業界におきましては、社会活動の正常化が進み、個人消費の回復傾向がみられました。一方で、原材料及びエネルギー価格の高騰や度重なる物価上昇などもあり、衣料品に対する消費マインドの冷え込みが想定されるなど、今後の事業環境への影響が依然として懸念されます。

このような経営環境の中、当社は、2024年度を最終年度とする中期経営計画の達成を目指し、「効率的な財務体質の構築」と「新たな収益構成の構築」を推進し、デジタルシフトやサステナブル経営をはじめとする「社会環境変化への対応」に取り組んでおります。また、重点戦略に沿って、新たに株式会社キャナルジーンを連結子会社化し、ライフスタイル事業を強化することで、当社グループの企業価値の向上に努めております。

その結果、当社グループの当中間連結会計期間の売上高は80億39百万円、営業利益は3億80百万円、経常利益は4億34百万円、親会社株主に帰属する中間純利益は3億93百万円となりました。

セグメント別の経営成績の概要は、次のとおりであります。

<フォーマル事業>

卸売事業におきましては、新たなお客様の開拓に向けた「tokyo soir ショップ」では、従来とは異なるカテゴリーの商品展開、魅力的な売場づくりやサービスの提供を継続しており、既存店舗では、継続して取引条件の改善や不採算店舗からの撤退を含め事業運営の効率化に取り組んでおります。

小売事業におきましては、直営店「フォルムフォルマ」では、オリジナル商品・コラボ商品の提案により、唯一無二のショップへの進化に取り組んでおります。Eコマース販売では、自社ECサイトにおけるマーケティングツールの活用や広告運用の効果によって、売上を伸ばしております。「kuros'」では、リアル店舗とECサイトの両軸で、継続して各種プロモーションによる認知度向上を図り、事業拡大を進めております。

レンタル事業は、お客様の認知度向上に向けた広告強化や展開商材の拡充により堅調に売上を伸ばしております。

このような結果、売上高は80億39百万円、営業利益は4億24百万円となりました。

<ライフスタイル事業>

当中間連結会計期間については連結対象となっておりません。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

当中間連結会計期間末における総資産は148億48百万円となりました。主な内訳は、商品及び製品51億41百万円、現金及び預金18億31百万円、土地16億56百万円、受取手形、売掛金及び契約資産16億1百万円、投資有価証券15億20百万円であります。

当中間連結会計期間末における負債は、48億97百万円となりました。主な内訳は、電子記録債務19億3百万円、長期借入金6億9百万円、退職給付に係る負債4億円であります。

当中間連結会計期間末における純資産は、99億50百万円となりました。主な内訳は、資本金40億49百万円、資本剰余金37億32百万円、利益剰余金20億76百万円、その他有価証券評価差額金5億47百万円であります。

②キャッシュ・フローの状況

当中間連結会計期間末における現金及び現金同等物は、18億31百万円となりました。各キャッシュ・フローの状況は、次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果使用した資金は1億87百万円となりました。これは主に、棚卸資産の増加3億42百万円や仕入債務の減少2億96百万円によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は5億40百万円となりました。これは主に、連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出5億82百万円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は2億1百万円となりました。これは主に、配当金の支払1億3百万円やリース債務の返済による支出77百万円によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当中間連結会計期間において、株式会社キャナルジーン的全株式を取得し子会社化したことに伴い、同社を連結の範囲に含めております。2024年12月中間期より、2024年12月期通期業績予想につきましては、株式会社キャナルジーンの業績予想を織り込んだ連結業績予想となっております。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位:千円)

| 当中間連結会計期間 (2024年6月30日) | |
|---------------------------|------------|
| 資産の部 | |
| 流動資産 | |
| 現金及び預金 | 1,831,734 |
| 受取手形、売掛金及び契約資産 | 1,601,053 |
| 電子記録債権 | 11,949 |
| 商品及び製品 | 5,141,494 |
| 仕掛品 | 304,851 |
| 原材料 | 6,490 |
| その他 | 187,975 |
| 貸倒引当金 | △585 |
| 流動資産合計 | 9,084,962 |
| 固定資産 | |
| 有形固定資産 | |
| 土地 | 1,656,362 |
| その他(純額) | 644,746 |
| 有形固定資産合計 | 2,301,108 |
| 無形固定資産 | |
| のれん | 459,765 |
| その他 | 239,188 |
| 無形固定資産合計 | 698,954 |
| 投資その他の資産 | |
| 投資有価証券 | 1,520,154 |
| 賃貸不動産(純額) | 809,758 |
| その他 | 436,149 |
| 貸倒引当金 | △2,619 |
| 投資その他の資産合計 | 2,763,443 |
| 固定資産合計 | 5,763,505 |
| 資産合計 | 14,848,468 |
| 負債の部 | |
| 流動負債 | |
| 支払手形及び買掛金 | 465,486 |
| 電子記録債務 | 1,903,663 |
| 契約負債 | 106,905 |
| 1年内返済予定の長期借入金 | 43,840 |
| 未払法人税等 | 127,589 |
| 資産除去債務 | 1,812 |
| その他 | 790,138 |
| 流動負債合計 | 3,439,434 |
| 固定負債 | |
| 長期借入金 | 609,200 |
| 退職給付に係る負債 | 400,077 |
| 資産除去債務 | 144,812 |
| 繰延税金負債 | 163,643 |
| その他 | 140,521 |
| 固定負債合計 | 1,458,254 |
| 負債合計 | 4,897,688 |

(単位:千円)

当中間連結会計期間
(2024年6月30日)

| | |
|---------------|------------|
| 純資産の部 | |
| 株主資本 | |
| 資本金 | 4,049,077 |
| 資本剰余金 | 3,732,777 |
| 利益剰余金 | 2,076,528 |
| 自己株式 | △543,271 |
| 株主資本合計 | 9,315,112 |
| その他の包括利益累計額 | |
| その他有価証券評価差額金 | 547,106 |
| 退職給付に係る調整累計額 | 88,560 |
| その他の包括利益累計額合計 | 635,667 |
| 純資産合計 | 9,950,780 |
| 負債純資産合計 | 14,848,468 |

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

中間連結損益計算書

(単位：千円)

| | 当中間連結会計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年6月30日) |
|-----------------|--|
| 売上高 | 8,039,327 |
| 売上原価 | 3,881,252 |
| 売上総利益 | 4,158,075 |
| 販売費及び一般管理費 | 3,777,921 |
| 営業利益 | 380,154 |
| 営業外収益 | |
| 受取利息 | 153 |
| 受取配当金 | 26,751 |
| 受取賃貸料 | 51,665 |
| その他 | 5,684 |
| 営業外収益合計 | 84,254 |
| 営業外費用 | |
| 支払利息 | 5,495 |
| 賃貸費用 | 21,649 |
| その他 | 3,025 |
| 営業外費用合計 | 30,170 |
| 経常利益 | 434,238 |
| 特別利益 | |
| 投資有価証券売却益 | 56,031 |
| 特別利益合計 | 56,031 |
| 税金等調整前中間純利益 | 490,270 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 79,762 |
| 法人税等調整額 | 17,093 |
| 法人税等合計 | 96,856 |
| 中間純利益 | 393,414 |
| 親会社株主に帰属する中間純利益 | 393,414 |

中間連結包括利益計算書

(単位：千円)

| | 当中間連結会計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年6月30日) |
|----------------|--|
| 中間純利益 | 393,414 |
| その他の包括利益 | |
| その他有価証券評価差額金 | 192,311 |
| 退職給付に係る調整額 | △9,680 |
| その他の包括利益合計 | 182,630 |
| 中間包括利益 | 576,044 |
| (内訳) | |
| 親会社株主に係る中間包括利益 | 576,044 |

(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

| | 当中間連結会計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年6月30日) |
|--------------------------|--|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | |
| 税金等調整前中間純利益 | 490,270 |
| 減価償却費 | 128,275 |
| 受取利息及び受取配当金 | △26,904 |
| 支払利息 | 5,495 |
| 投資有価証券売却損益(△は益) | △56,031 |
| 契約負債の増減額(△は減少) | △113,135 |
| 貸倒引当金の増減額(△は減少) | △65 |
| 退職給付に係る負債の増減額(△は減少) | △12,717 |
| 売上債権の増減額(△は増加) | 58,761 |
| 棚卸資産の増減額(△は増加) | △342,814 |
| 前払費用の増減額(△は増加) | 34,832 |
| 仕入債務の増減額(△は減少) | △296,514 |
| 未払金の増減額(△は減少) | △64,122 |
| 未払又は未収消費税等の増減額 | 111,702 |
| その他 | △30,008 |
| 小計 | △112,975 |
| 利息及び配当金の受取額 | 26,904 |
| 利息の支払額 | △5,523 |
| 法人税等の支払額 | △95,635 |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | △187,229 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | |
| 投資有価証券の取得による支出 | △62 |
| 投資有価証券の売却による収入 | 92,590 |
| 有形固定資産の取得による支出 | △30,040 |
| 資産除去債務の履行による支出 | △5,690 |
| 貸付金の回収による収入 | 2,687 |
| 敷金及び保証金の差入による支出 | △22,902 |
| 敷金及び保証金の回収による収入 | 5,583 |
| 連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出 | △582,290 |
| その他 | 60 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | △540,064 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | |
| 長期借入金の返済による支出 | △20,000 |
| 配当金の支払額 | △103,327 |
| 自己株式の取得による支出 | △469 |
| リース債務の返済による支出 | △77,558 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | △201,354 |
| 現金及び現金同等物の増減額(△は減少) | △928,649 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 2,760,383 |
| 現金及び現金同等物の中間期末残高 | 1,831,734 |

(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)

・連結の範囲の重要な変更

当中間連結会計期間において、株式会社キャナルジーンの全株式を取得し子会社化したことに伴い、当中間連結会計期間より同社を連結の範囲に含めております。

なお、当中間連結会計期間においては、貸借対照表のみを連結しております。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

当中間連結会計期間(自 2024年1月1日 至 2024年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

| | 報告セグメント | | | 調整額 (注) 1 | 中間連結 損益計算書 計上額 (注) 2 |
|-----------------------|-----------|---------------|-----------|--------------|-------------------------------|
| | フォーマル事業 | ライフスタイル 事業 | 計 | | |
| 売上高 | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 8,039,327 | — | 8,039,327 | — | 8,039,327 |
| セグメント間の内部売上高 又は振替高 | — | — | — | — | — |
| 計 | 8,039,327 | — | 8,039,327 | — | 8,039,327 |
| セグメント利益 | 424,224 | — | 424,224 | △44,070 | 380,154 |

(注) 1. セグメント利益の調整額△44,070千円は、子会社株式の取得関連費用であります。

2. セグメント利益は、中間連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの資産に関する情報

2024年4月23日付で、株式会社キャナルジーンの株式を取得したことにより、当中間連結会計期間より、同社を連結の範囲に含めております。これに伴い、当中間連結会計期間より「ライフスタイル事業」を新たに報告セグメントに追加しております。この影響により、ライフスタイル事業のセグメント資産の金額は869,284千円増加しております。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

当中間連結会計期間より、事業セグメントの区分方法を見直し、報告セグメントを従来の単一セグメントから、「フォーマル事業」「ライフスタイル事業」に変更しております。

なお、当中間連結会計期間の比較情報としての前中間連結会計期間のセグメント情報については、当中間連結会計期間より中間連結財務諸表を作成しているため、記載しておりません。

4. 報告セグメントとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

「ライフスタイル事業」セグメントにおいて、2024年4月30日をみなし取得日として、株式会社キャナルジーンが新たに連結子会社となっております。

なお、当該事象によるのれんの増加額は、当中間連結会計期間において459,765千円であります。